

寄付者 1口以上のご寄付をいただきました(3000円/1口)
 さとう行政書士・社労士事務所(下記にご紹介しています)
 碧いびわ湖(下記にご紹介しています)
 工房シーダーノ

寄付者 1口以上のご寄付をいただきました(3000円/1口)

石田和正	金崎いよ子	加村賀勇	河野芳明	北田俊夫
沢井進一	鹿田玲子	柴田恵美子	下田義春	庄郁雄
鈴木良臣	竹内辰郎	竹山瑞祥	田中康之	中明子
中 信二	平山奈央子	古川道夫	矢代眞佐博	山口幸江
山名美奈				

賛助会員

青谷正史	東 善広	石田昇平	井野清治	岩崎祐子
岩本照美	上田一好	上野加寿紀	大谷明代	金崎 崇
川上慶子	川上奉代	倉嶋昭廣	蔵田良美	桑原文子
小西真理 麻	小西由美子	佐藤麻里	穴戸亜由子	杉野久男
須佐見芳江	瀬川 香	瀧沢 守	多田 稔	田中三千子
谷口淑恵	檀上道典	寺田光江	戸田博通	中 秀行
長尾克矢	長尾幸子	長尾麻紀	長尾美香	中島 耕
長谷美智留	並河 聰	野田浩資	林 知佳	菱倉新緑
廣田昌代	藤井明德	藤井 清	藤本幸子	古川晴美
細谷卓爾	本田恭子	松居弘次	松村順子	三浦豊司
宮本武吉	森 雄三	矢代眞佐博	安田英行	山口幸江
山添史郎	山田亘宏	吉田昌代		

特定非営利活動法人 碧いびわ湖
 旭化成(株)守山製造所
 おたがいさんネットワーク
 株式会社 かめやクリーニング
 株式会社 清原
 クラブサンタクロース
 湖南・甲賀環境協会
 湖南ホームタウン(社会福祉法人滋賀県障害児協会)

これから行動隊
 さとう行政書士・社労士事務所
 NPO法人滋賀環境カウンセラー協会
 有限会社 哲
 鉄人工房マツヤ
 (有)バンカー保険事務所
 びわ湖・大津ノルディックウォーキングクラブ

株式会社 森川商店
 社会福祉法人守山向日葵会 若鮎保育園
 守山市金融協議会
 山本紙工(株)
 NPO法人 ゆうらいふ
 (50音順)

特定非営利活動法人
碧いびわ湖
<https://aoibiwako.shiga-saku.net/>

工房シーダーノ
<https://straw-tail.sakura.ne.jp/>

さとう行政書士・社労士事務所
 許可申請・労務管理・給与計算 他
<http://www.sgyosei.com/index.html>
 守山市千代町60-12
 TEL: 077-583-2627
 代表 佐藤育子

今月の詩

電線に 並ぶ音符の村雀
 唄っておくれ 春愛てる歌
 N.S.
 立ち止まり マスクはずして冬の風
 三回目のワクチン心待ちにし
 石田桜翠

投稿者募集中!!

これからの活動予定

- | | | |
|--------------------|--------------------|----------------------|
| ◎ほたる飛翔調査 | 開 5月9日(月)~6月8日(水) | 場 市内河川一帯 |
| ◎第19回守山ほたるパーク&ウォーク | 開 5月22日(日)~29日(日) | 場 守山市街地一帯 |
| ◎びわこ豊穰の郷通常総会 | 開 6月12日(日) | 場 未定 |
| ◎水辺百選講座 | 開 7月10日(日) | 場 瀬田川周辺 |
| ◎目田川モデル河川づくり | 毎月第3土曜日 9:00~12:00 | 開 開催日時 集 集合場所 活 活動場所 |

しじみのひとりごと

2021年は、一昨年からのコロナ禍により各種行事の延期や中止が続きました。そして触れ合いの機会が少ない一年でした。それでも豊穰の郷の各イベント等については、ほとんど予定通り実施されました。残念ながら守山ほたるパーク&ウォークは中止になりましたが、ホタルは元気に飛んでくれました。これは各々の関係者による絶大な協力と良き段取りのおかげと感謝します。

今年の六月には甲賀市の「鹿深夢の森」で第七十二回全国植樹祭が開催されます。水と樹木とは大いに関係があり、ぜひ参加したいと考えております。今年こそコロナの終焉を念願し、会員の方々のますますのご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。(K・I記)

豊穰の郷 だより Vol.95
 人と水環境のネットワーク

2022年3月31日発行 発行部数 1,800部

発行 認定NPO法人びわこ豊穰の郷 E-mail houjyounosato@lake-biwa.net
 理事長 金崎いよ子 URL http://www.lake-biwa.net/akanoi/
 住所 守山市勝部五丁目10-25
 TEL 077-583-8686 (有線 583-8686)
 FAX 077-558-5007

- 1面 川づくりフォーラム
 2面 MLGS+あつまれみんなの川づくり、赤野井宮・小津袋クリーン大作戦など
 3面 水辺の楽校(春編)、ホテル早期羽化に成功、ホタルとの共存
 4面 ほたるサポーターの紹介、今月の詩、しじみのひとりごとなど

第19回
 川づくりフォーラム



目的

ホタルと共生するために
 できることは何か

問2 どちらのホタルがゲンジボタルでしょう?



ホタルクイズ

第19回川づくりフォーラムが1月30日(日)に開催されました。新型コロナのために、リアルな従来型の形式を急遽 Zoom オンライン型のものに変更しての開催となりましたが、自宅のパソコンからの参加者30数名を含め、約70名の参加がありました。これまでとは異なって今回は内容の企画・進行を数人の若い大学生がやってくれたことで、雰囲気や和ませるアイスブレイク(ホタルクイズ)や、休憩時に英語版のVTRを流すなど、新しい試みを取り入れられました。県立大 瀧先生の基調講演「水辺の小さな自然再生」では、川底をきれいにするために、長靴を履いて川底を歩く、といった斬新なアイデアも提案され、また、宮本守山市長も長時間 Zoom 参加され、提起された課題についてコメントを頂きました。参加の小学生も、質問や回答をしっかりとしていた

ので、リアルとは違ったオンラインの良さを今後生かす運営を考えたいです。従来のフォーラムが大人目線で運営していたのを、環境学習という観点で今後は子供目線を入れたものにし、また、報告を5分に切り詰めたのも良かったと思います。質問や意見交換に時間をかけるなど、この機会に、オンラインの良さを強調する運営方式に変えていくチャンスだと思いました。

MLGs+ あつまれみんなの川づくり

2月27日(日)図書館横目田川で「あつまれみんなの川づくり」を行いました。滋賀県のマザーレークゴールズ(MLGs)とのコラボ企画で、川づくり体験を呼び掛けたこのイベントに、市内の小学生とその家族18組(約50名)が参加するにぎやかなイベントになりました。春も浅いこの時期に川に入り、土嚢袋に川の土を入れ、川の流れを調整するための堤を設置するバーブ工づくりは、力仕事です。重い土嚢を抱えて移動させようとする子どもの姿に、最初は汚れることをためらって

いた保護者もすぐに、服や顔に飛び散る泥も気にせず大きな声を出しながら作業に加わってくださいました。おかげで3つのバーブ工が完成し、川の流れに変化ができました。見る見る変わっていく川底の様子に目を見張り、全員がすがすがしい達成感を味わえたことには言うまでもありません。すっかり良くなったこの場所に、今年初めてゲンジボタルの幼虫を放流しました。あの素晴らしい図書館の横でホタルが観賞できることを楽しみにしています。



赤野井湾・小津袋クリーン大作戦

3月6日(日)赤野井湾・小津袋クリーン大作戦を行いました。コロナ禍での開催でしたが、約50名の参加者は、琵琶湖からの強い風を受けながら船と陸に分かれて熱心にごみ拾いをしてくださいました。小津、玉津の自治会や滋賀銀行の皆さんに加え、今年

はSNSの募集を見て参加してくださる家族もあり、赤野井湾の環境改善に興味を持つ市民の輪が広がりつつあることを実感しました。湖岸に生育するオオバナミズキンバイなどの水草が見つからなかったことも特徴的でした。回収したごみの総量は180kgでした。



子ども善行表彰

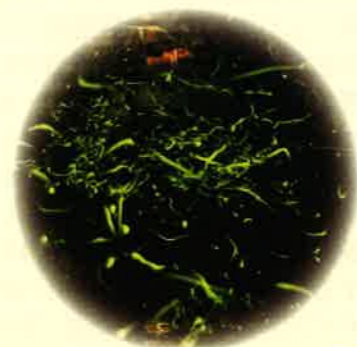
『幼稚園の年長ごろから約5年間、月1回の目田川の河川清掃活動に参加し環境美化に努めている。また「小さな自然再生」活動にも参加し、ホタルの自生ができるよう調査や整備を行った。』このような活動に対して、河村優くんが守山市から善行表彰されました。いつも、生き生きと目田川で活動してくれてありがとうございます。



守山市ほたるの森資料館 30周年ビデオ完成

2020年、守山市ほたるの森資料館設立30周年を記念して作成してきた記念DVDが完成しました。守山幼稚園の園児の皆さんの「ありがとうほた

る」の合唱に乗せて、守山ボタルの歴史や資料館の設立当時の苦労話や現在の取り組み状況等が収められています。これは3月26日に行われた資料館の第2回環境学習会でお披露目されました。



水辺の楽校(春編)

3月12日(土)水に入りたくなくなる気持ちの良い天気、参加者28名、スタッフ14名で活動しました。“ホタルが飛ぶとワクワクするね”をコンセプトに守山市ほたるの森資料館の協力で、飛翔調査参加につなげたいプログラムにしました。まずはごみの話、ごみ拾い、そしてホタルクイズ、名前をつけたホタル幼虫の放流。今回初めて守山市内でメディカルセラピストとして活躍されている南準子さんに“キットパスアート”の講師をしてい

ただきました。そして子どもたちの手型とほたるの木という作品を作りました。事前にインターンの大学生にやり方を習っていただき、当日はアシスタントとして活躍してもらいました。イベント後のアンケートには今回参加のほぼ全員の保護者10名が回答くださり、ホタルの話・放流に全員が良かったと答えてくださいました。また、飛翔調査に参加したいという方も4名おられました。



ホタル早期羽化に成功

3月にホタル誕生す
春浅き三月

守山市ほたるの森資料館では三頭のホタルが誕生しました。3月2日はメス一頭、3月3日はオス一頭です。古くは守山のホタルが天然記念物に指定されていました。しかし工業化が進み川が汚れてホタルが大幅に減少しました。

2019年より特別容器で、中を暗く水温と土の温度を上げて飼育し、その結果早めの誕生となった次第です。この担当は加村技師が精魂込めて育てられたおかげで早めの誕生となった次第です。

現在は、守山市ほたるの森資料館で大先輩南喜市郎氏を継いでホタルの保護活動に取り組んでいます。



3月10日(木) NHKニュースで紹介されました

ホタルとの共存

ホタルにまつわるお話3
ホタルと光環境の工夫

ホタル自生地(幼虫の放流なしに多数のホタル飛翔が見られる場所)を守るために、光環境の重要性が近年多く報告されています。ホタルは暗闇での光感度が高いため、満月の月明かりでもまぶしく感じ、ちょうど私たちが夜間自動車のヘッドライトに幻惑されるように、雄が異なるリズムで弱く発光する雌を見つけ近づくことが難しくなります。また、桜が咲く頃の雨が雨上がりの夜行われる土繭を作るための上

陸活動が、光の嫌いな幼虫にとって難しくなります。ホタルの幼虫が健康に育つための光環境も大事です。幼虫は昼間、石の影や岸の暗がりにおいて、夜餌を求めて活動します。自生地から昼の暗がりや、夜の川底の暗さが失われると、幼虫は強いストレスや飢えによって衰弱してしまうのです。一方夜間の通行や防犯に照明は住民にとって重要で、場所に応じ3-10ルクス(以下Lx)の照度最低基準が設けられています。最近使われているLED防犯灯は指向性が高く、同じ明るさでもホタルへ

連載: 河野芳明

の影響範囲が広がっています。また、校庭や公園での夜間スポーツでは更に明るいナイター照明が必要とされています。このような場所では、ホタルの上陸や繁殖に必要な0.3Lxの5倍から10倍の照度になっていることが確認されました。そこで人とホタルが共存できる光環境への改善の試みを進めています。続きはHPIほたるにまつわるお話3 <https://www.lake-biwa.net/akanoi/hotarunimatuwaru3>で紹介しているので参考にしていただきたいと思います。